



収穫の秋、農作業を体験

「つべつ学Ⅰ」で津高1年生が農業を学ぶ

9月7日、高台の細川農園の畑において、津別高校1年生21名が参加した農業体験が行われました。

津別町の農業の概況を知り、地域への理解を深めることを目的に行われた「つべつ学Ⅰ」では、農業体験のほか、役場職員による町の農業についての説明がありました。



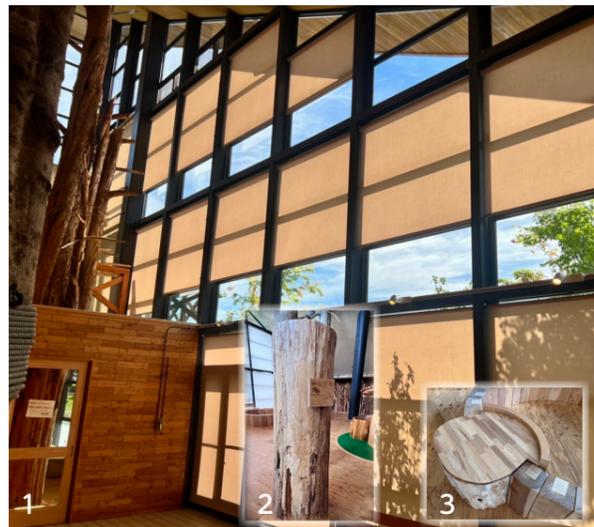
自然を大切にする心を養う

小・中学校で木育授業を実施

9月14日、上里の森で小学校3年生の木育授業が行われました。現場では、倒木更新などを間近で見ることができ、子どもたちは自然を感じました。

津別町では、小・中学生を対象に年3回木育授業の時間を設けており、今年で14年目となります。

1 ロールカーテンを設置
2 「やちだも」の木を高さ190cmで切断し切り株へ加工
3 「はりぎり」の木をイスへ加工



木材工芸館キノスを快適に

ロールカーテンを設置・展示樹木の撤去作業

6月27日より、1階遊具広場の直射日光を防ぐため、ロールカーテンの設置と、一部展示樹木の撤去、研磨・塗装などの作業が行われました。利用者の安全性が向上し、8月3日から営業を再開しています。利用時間は正午から午後4時30分です(休館日:火曜日、年末年始)。



1,550kgの木材が集まる

つべつウッドロスマルシェを模擬開催

8月27日に中間土場(日本岐中学校グラウンド)にて、つべつウッドロスマルシェの模擬開催が行われました。今回の模擬開催では、町内外から合計1,550kgの木材が集まりました。詳細は、11月下旬に開催予定の再エネ勉強会で報告します。

津別町の木育

現在インターネットで公開中! 町のHPをご覧ください

津別町で10年以上取り組まれている学校授業「木育(もくいく)」。
専門の講師を招き、小学校3年生と5年生、中学校1年生を対象に行われています。毎年9月にそれぞれの学年で年3回行われている特別な授業です。
ここまでの規模で行われる木育は、北海道でも珍しい取り組み。愛林の町津別町ならではの、ユニークな授業「木育」に込められた大人たちの思いとは? ぜひご覧ください。



この番組は、津別町の今を映像で定期的に発信(月1回)することで、町民の町づくりへの参加促進、移住・定住の促進、ふるさと納税の拡大を図り、町づくりの記録を残すことで、10年後20年後の町民への財産とします。完成した映像は、町のWebサイトや道東テレビ、YouTube等で公開いたします。また、さんさん館、津別病院、道の駅あいおいに設置された「デジタルサイネージ(映像看板)」でも視聴することができます。*タウンニュースつべつは、ふるさと納税の寄附金により制作しています。

毎月末日 ごろ更新
《取材希望企業・飲食店・生産者募集!! 詳しくは役場住民企画課まで》
問い合わせ先 住民企画課 企画係 14番窓口 ☎ 77-8374



地域おこし協力隊員が津別町に来て学んだこと、感じたことをつづります。

その98

津別町に来てよかった!

増田 啓一郎

Café&DELI Luka 勤務。京都出身、料理をやること、食べることが何よりも好きな45歳。

4月より京都から津別町に地域おこし協力隊員として参りました増田です。

木材工芸館キノスの隣の黄色い建物のCafé&DELI(Luka)カフェアンドデリカ)で主に調理を担当しています。チーズ工房の設備もあり乳製品にも力を入れていきたいと考えています。

趣味は料理で和・洋・中・菓子まで、なんでも作るのが好きです。料理の世界は広大です。やってみたくことがたくさんあり、創りたい物は果てがありません。作ったご飯が美味しいと食べてもらえることが最高の喜びです。将来は、この地で美味しいごはんのお店を開きたいと思っています。

どうぞよろしくお願ひします。津別町に来てから5か月が経ちましたが、まだまだ新しい発見が多く、休みの日は車で、この道はどこに繋がるのだろうか、通ったことのない道を通ったりしています。綺麗な景色がたくさんあり写真を撮るのも楽しいです。これから季節が変わって、秋から冬にむけて、また違った新しい津別町の顔を発見することを楽しみにしています。

7月にオープンしたルカですが、お越し頂いたお客様にはこの場をお借りして深く御礼申し上げます。まだお越し頂いていない方はぜひお立ち寄りください。お待ちしております。